

消セン新聞

— 買い物は投票だ —

(令和8年2月24日発行)

消費生活安全センターは、商品やサービスなど”お買い物”に関するトラブル等の相談窓口です。専門の知識を持った消費生活相談員が、トラブル解決のお手伝いをしています。

消費者トラブルは、知っていれば防げることも多いので、是非この「消セン新聞」を読んで、御自身だけでなく、身近な方にもお声かけください。

身近にひそむ危険

高齢者の家庭内事故にご注意

医療機関ネットワーク事業(※)で収集された高齢者の家庭内事故情報から、その分析結果をまとめた注意喚起情報をお知らせします。

※消費者庁と(独)国民生活センターの共同事業



高齢者の家庭内事故の特徴

- 家庭内事故の半数は **転倒・転落**
- **75歳以上**では、**窒息**事故が増加
- 事故の**約3割**が **骨折・頭部損傷** など長期治療を要する症状



主な事例と事故の予防

事故の種類	主な事例	予防のポイントと複合対策
転倒・転落	<ul style="list-style-type: none">● 自宅内でスリッパが脱げ、靴下が滑って転倒し、骨折。● 歩行器使用中に転倒し、骨折。	<ul style="list-style-type: none">✓ 筋力維持の運動と転倒防止のための住環境の改善が必須です。
屋外作業	高さ1mのはしごから転落、急性硬膜下出血に。	<ul style="list-style-type: none">✓ 高所作業での安全対策を徹底しましょう✓ 危険な作業は、無理せず専門業者への依頼も検討してください。
やけど	ストーブの前で居眠りをしてしまい、やかんの蒸気で顔面に熱傷を負った。	<ul style="list-style-type: none">✓ 熱さの感覚の鈍化により危険の認識が遅れます。温度管理に注意してください。✓ 調理時は袖口に注意してください。
誤飲・誤嚥	柔軟剤をペットボトルに入れ替えて使用していたため誤飲。重症肺炎に。	<ul style="list-style-type: none">✓ 洗剤・薬品は手が届かない場所に保管してください。ペットボトルへの二次利用はしないでください。(危険物の隔離)✓ 餅は小さく切り、よく噛んで食べましょう。

万一のための緊急初期対応

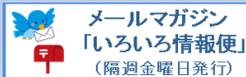
ご注意ください!

事故の種類	救急車到着までの初期対応
誤飲・誤嚥	無理に吐かせず 、飲んだ物の製品名、量、時間を救急隊に伝える
窒息	背部叩打法 や 腹部突き上げ法 を交互に繰り返す
やけど	衣服の上から 流水 で 15~30分冷却 (氷や無理な剥離は厳禁)

モバイルバッテリーの発火事故



この資料は、(独)国民生活センター「医療機関ネットワーク事業情報からみた高齢者の家庭内事故」(https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20251029_1.html)を元に、京都府消費生活安全センターが作成



◀京都府消費生活安全センターでは、消費生活に関する様々な情報を発信しています。

<https://www.pref.kyoto.jp/shohise/1237337137456.html>
(トップページ → 暮らし・環境・人権 → 食生活・消費生活 → 京都府消費生活安全センター → 暮らしの情報ひろば → メールマガジン)